

## 平成19年度調査研究報告書一覧

(財) 年金シニアプラン総合研究機構では平成19年度の研究成果を公開しております。

発行時期 平成20年3月

タイトル	番号	主な内容 (目次抜粋)	研究メンバー	定価
サラリーマンの生活と生きがいに関する調査	19-1	サラリーマンシニアの生活実態、生活意識や価値観の選考、生きがい等について把握するため、厚生年金基金等の加入員及び受給者を対象とした調査を行い、調査結果の分析、公表を行った。	西村純一 (東京家政大学教授) 他5名	2,100円 *PDF版は無料ダウンロード可能
SRI及びPRIに関する調査報告書	19-2	SRI及びPRIについて、わが国の年金基金がどのように考えどのように行動しているかを客観的に明らかにするため、年金基金を対象にアンケート調査を実施し分析を行った。	首藤恵 (早稲田大学大学院ファイナンス研究科教授) 他5名	1,000円 *PDF版は無料ダウンロード可能
		上記英語版	*PDF版(無料)のみ	
欧州の公的年金運用に関する現地調査報告—フランス・ノルウェー・デンマーク	19-5	フランス年金積立基金、ノルウェー政府年金基金、デンマーク労働市場付加年金における年金運用組織と運用の実態について現地調査を実施した。	竹ノ谷修 (年金シニアプラン総合研究機構主任研究員) 他2名	1,600円
海外公的年金基金のインハウス運用に係る調査	19-6	年金積立金管理運用独立行政法人における今後のインハウス運用の活用方法等に資することを目的として、海外の主要な公的年金基金のインハウス運用に関する事例を調査した。調査した事例は「ノルウェー政府年金基金—グローバル (GPF-G)」「オランダ公務員総合年金基金 (ABP)」「カリフォルニア州職員退職年金 (CalPERS)」「オンタリオ州教職員退職年金基金 (OTPP)」「カナダ年金制度投資委員会 (CPPIB)」	寺田浩貴 (年金シニアプラン総合研究機構主任研究員) 他2名	2,700円
米国における公的年金基金の動向に関する調査研究	Jetro	米国の公的年金基金の制度的特長や最近の改革動向、基本的なガバナンス構造や投資戦略など公的年金基金をめぐる現状と課題の全体像を明らかにし、機関投資家としての公的年金基金をめぐる最近の話題として「社会的責任投資」をめぐる議論の動向と取り組み事項を紹介する。	渡辺由美子 (ジェトロ・ニューヨークセンター 年金福祉部長)	1,600円

※ 調査研究報告書をお求めの場合は、「[調査研究報告書購読申込書](#)」をFAXまたはE-Mail等でご送付ください。

※ 別途送料(1冊送付の場合80円(メール便利用))を申し受けます。

● 報告書の購入およびお問合せはこちらへ  
財団法人 年金シニアプラン総合研究機構  
〒108-0074 東京都港区高輪1-3-13  
NBF高輪ビル4F(総務企画部)  
TEL 03-5793-9411 FAX 03-5793-9413  
■ E-Mailアドレス: [soumubu@nensoken.or.jp](mailto:soumubu@nensoken.or.jp)